



略歴

1984年11月、印西市山田生まれ。A型。瀬戸幼稚園、六合小学校、印旛中学校(生徒会長)、佐倉高校、早稲田大学政経卒(米国ワシントン D.C.留学)。国際協力銀行(香港駐在を経験)、ボストン・コンサルティング・グループ(外資系戦略コンサル)、青山社中(株)執行役員(政策シンクタンク)を経て、地元印西でまちづくり会社を創業(弥治右衛門合同会社)。家族: 父(元印西市職員)、母(看護師)、妻(言語聴覚士)、長女(小5)、次女(小3)の現役子育て世代、代々農家

「世界モデル」のまちへ

自然(ルーラル)と都市(アーバン)の共存(ラーバン※)

※ラーバンとは、農村や田園、田舎を意味する「ルーラル (Rural)」と都会を意味する「アーバン (Urban)」を合わせた造語。千葉ニュータウンが目指す姿として、度々、掲げられる語

印西市の特徴である

自然と都市がともに真に生きるまちづくりへ。
都市から自然・里山への人の流れを創出。
里山ならではの分散型のまちづくりを実現。

全市での多極循環型のまちへ

多極・循環型



1 未来へつながる農業

印旛沼周辺を中心に日本有数の広大な水田と豊かな里山を有する印西市。
持続可能な農業の実現に加えて、農業・里山の新たな価値を創出します

意欲ある担い手への支援強化

農地・農機の購入補助拡充

⇒ 大規模農業の担い手に対して、市独自の補助金拡充

農業者会議の定期開催

⇒ 市内の農業環境も地域によって多様。全市及び地域毎に、やる気のある担い手による連携促進や意思統一の場としての会議を設置
⇒ 地域の“農業未来図”である「人・農地プラン（地域計画）」の策定を進める

新規就農希望者と農業者のマッチング支援

⇒ 新規就農者・農業後継者の確保へ向けて、既存農業者とのマッチングを支援

スマート農業推進に向けた先進民間企業との連携強化



農地集約への支援

点在する耕作地の集約化支援

⇒ 現在は大規模農業者でも耕作農地が点在。中立的な立場にある行政が仲介し、各農業者の耕作地の集約を進める
⇒ 農地集約に協力した農業者への支援強化

農地・山林相談窓口の設置

⇒ 農地の相続等に関する専用窓口を設置。「親から相続したけど農地のことがわからない」といった後継ぎの方でも相談し易い窓口を通じ、耕作放棄地化や産業廃棄物などのゴミ捨て場化を防ぐ

農地情報専用サイトの整備

⇒ 認定農業者限定で閲覧できる農地の空きや契約条件を確認できる情報サイトを整備。農地の貸し借りを促進

大規模化への基盤整備促進

⇒ 農業インフラ整備（耕地整理・基盤整備）の推進
⇒ 基盤整備の前提となる農地や山林所有の境界の明確化

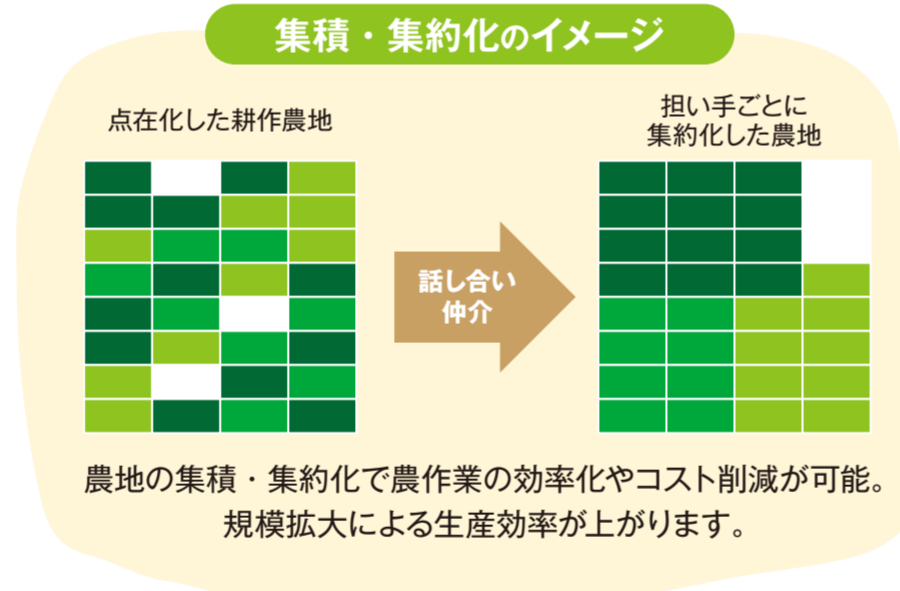
有害鳥獣(ちょうじゅう)対策

地域ごとに獣害対策班の立上げ

⇒ 増え続けるイノシシによる獣害への対策を見直す。捕獲体制を整えるため、猟友会、狩猟免許取得者を中心に獣害対策班を編成
⇒ チームごとに、猟師育成や捕獲を推進、報奨金の引き上げを検討

生息しにくい環境づくりへの支援

⇒ 竹藪や草むらなどの鳥獣が生息し易い地域での森林整備・草刈りなどへの補助を強化



地域特性にあった生産振興

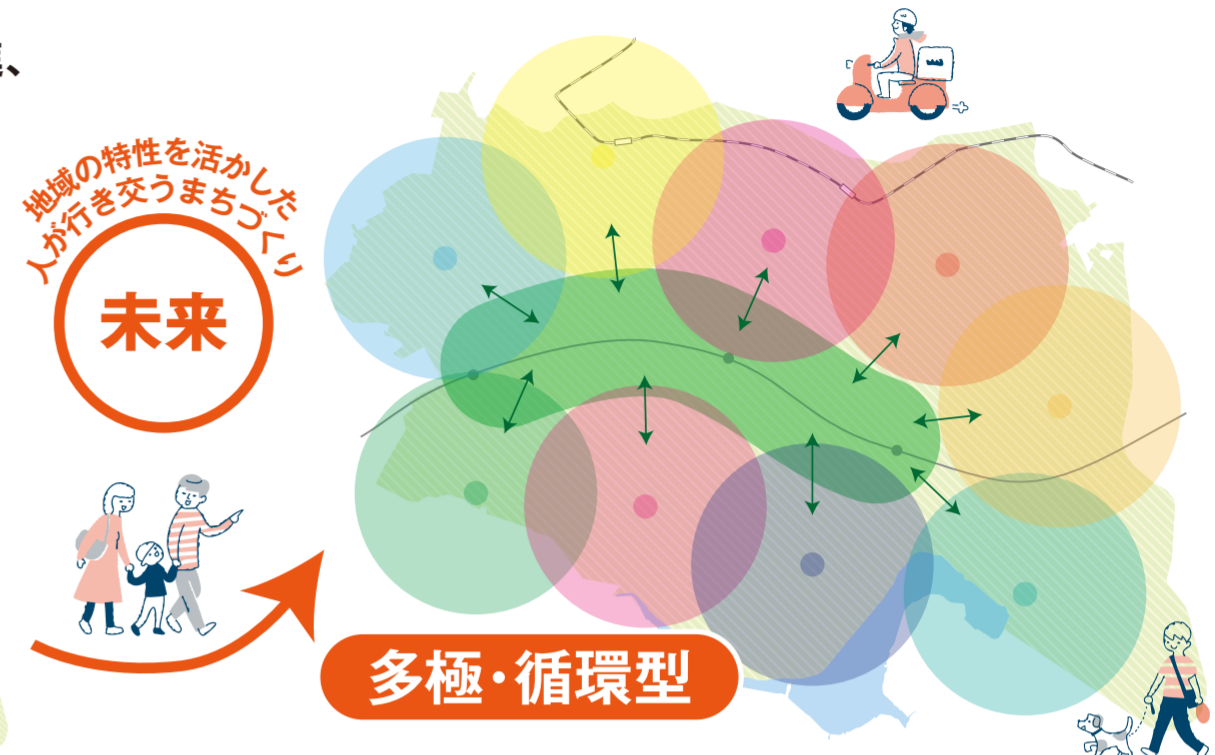
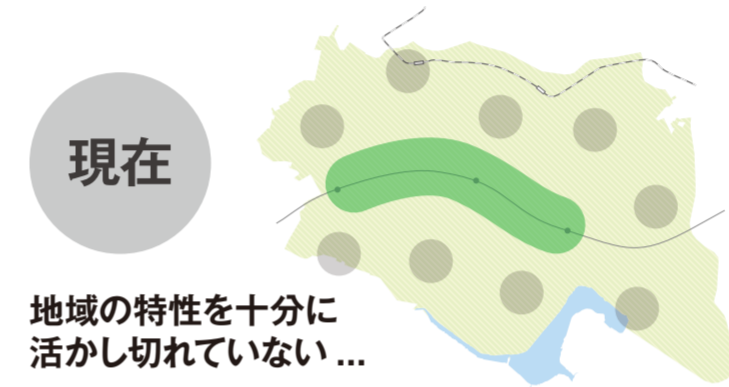
有機農業などの都市型農業の推進

パパイヤメロン、レンコンなどの新たな特産品目の栽培支援

2 みんなで育む里山・農業 里山・農業の新たな価値の発見・接点づくり

● 学校給食での市内農産物利用促進、安心安全な有機野菜の利用促進

● 教育×農業：地域食材を育てる田んぼ・畑での農作業体験、地域食材で献立づくり



● 耕作放棄地を活用した市民農園（ビオトープ・農園・公園）づくり



長らく耕作放棄地とされてきた土地を農地のまま子供とその土地の未来の為に「農地公園」として活用した新しい公園

©SOIL to SOUL FARM PARK@鴨川

● 個人店をはじめとする新たな店舗誘致・起業促進



地方創生の先進地、徳島県神山町。創造的人材の誘致により、町内に続々とIT・農・食などの新ビジネスを創造

©神山町

● 森のようちえん、常設プレイパーク設置、里山マルシェ開催支援



自然豊かな環境の中で、子どもたちに多様な体験活動や外遊びの機会を提供（佐倉市プレーパーク支援事業補助金）

©佐倉市

● 空き家などを活用した滞在型農園の整備推進



宿泊滞在型の市民農園「クラインガルテン」。農業体験や地域特有のアクティビティを満喫できる場所を提供

©南アルプスクラインガルテン

● 景観そのものを価値に変える水田の中のシンボルづくり



山形県庄内地方（鶴岡市）に立地する「スイデンテラス」。美しい水田に木造建築が優しく浮かぶように見える地域のシンボル

©スイデンテラス

● 地域活性化を含めた新クリーンセンターの整備



印西市民、移転先地区の方々の合意形成を進めながら、新クリーンセンター（ごみ処理施設）の整備を推進します

©印西地区環境整備事業組合資料

3 自然豊かな里山地域への 移住・定住を推進



©一般財団法人神戸農政公社

住居や農地の情報を提供し、自然豊かな地域の空家や地域の方々とのマッチングを推進。地域特有のしきたりやお祭りなどの伝統行事などに対し、移住後も移住者が地域にとけ込めるよう相談を実施します

魅力発信 × 住まい × 教育 × 防災 × 交通インフラ

里山定住促進コーディネーター(世話人)を設置

- **情報発信・プロモーションの強化**
- **自然豊かな少人数教育の推進**
⇒ 他自治体では「自然豊かな地域ならではの少人数教育」が移住定住の最も重要な施策に。子育て世代への魅力を高める教育環境を整備
- **災害に強い里山づくり**
- **規制緩和による定住・起業促進**
⇒ お隣の佐倉市では、地域コミュニティの維持に向け、自然豊かな地域での新たな住宅建設が可能に
- **交通をはじめとする生活インフラの向上**
⇒ 病院・買い物専用ミニバスの導入、地域の有償ボランティアタクシーの導入を通じて、交通の不安を解消
⇒ 生活道路整備や道路の草刈などの支援強化

4 都市と自然を守る グリーンインフラ



ニュータウンや里山地域でのグリーン（緑の）インフラ整備を促進。自然と調和したまちづくりを進めます。自然を資本と捉え防災・減災観光、地域振興などに活用していきます

ゼロカーボン都市に向けて

- **ニュータウンでのグリーン(緑の)インフラ整備推進**
⇒ 里山保全に加えて、NT での強い防災にも対応
- **市街化区域に隣接する地域などでの自然と調和したまちづくり**
⇒ まちづくりのビジョンである地区計画の策定
- **印旛沼や手賀沼、師戸川などの水質汚染対策**
⇒ 合併浄化槽導入を促進（既存施設で導入義務化検討）
- **里山・森林の保全**
⇒ カーボンファーム（CO2 吸収源としての水田・湿地利用）や天然のダムとして水田・里山の維持管理を行う NPO やボランティアへの助成強化
⇒ 市内に拠点を有する企業との連携強化
⇒ ホタルの見える水田
- **不適正行為の未然防止**
⇒ 不法投棄の監視強化、大規模太陽光発電施設の規制強化
- **地域文化資源の保全と活用**

藤代けんごの活動はウェブでも発信中！

藤代けんご後援会

〒270-1337 千葉県印西市草深1155-1

TEL.090-1400-8885

FAX.0476-98-0542

info@fujishiro-kengo.com



fujishiro-kengo.com

藤代けんご

